

保育総合研究会広報誌 NO. 47

発行所： 保育総合研究会事務局 平成 24 年 4 月
茨城県東茨城郡茨城町上飯沼1276-1 飯沼保育園内
TEL029-292-6868 FAX 029-292-3831
発行人： 会長 梶 沢 幸 苗



平成24年2月24日(金)午後1時から東京都渋谷区アイビーホール青学会館において年次大会が開催された。

基調報告 (13:15~14:45)

<テーマ>「乳幼児期の『保育所保育の必要性』に関する研究」

<報告者> 目的、必要性、経過報告
0歳からの保育所における教育
小学校との接続連携
保育所保育の必要性まとめ

坂崎 隆浩
田和 由里子
松永 恵美子
梶 沢 幸苗

・保育所保育の目的、必要性、経過報告

保育所保育の必要性を最初の年齢である0歳児と最終年齢である5歳児に焦点をあて、0歳児では絵本という保育では長い歴史のある教育的玩具、5歳児は小学校との連携という新たな課題を取り上げ、これら二つの検証により明らかにしていく。

・0歳からの保育所における教育

0歳児の月齢の低い子どもたちでさえ、毎日の繰り返しにより習得していく事柄がある。子どもが興味関心を示した時点で様々な経験をさせることが大切であると同時に、興味を引き出す保育士側の環境設定で重要であり、そこから教育的効果が生まれて来るのだと考える。

・小学校との接続連携

保育園での遊びを中心とした活動から小学校では教科学習を中心とした活動に切り替わることなどに代表される構造的な問題「段差」を認識し、それらを解消あるいは少しずつ慣らしていくことで、「幼児期の教育(就学前教育)から小学校教育へ」と円滑な接続ができ、子どもたちの不適応問題が解消されるだけでなく、小学校の活動に対して意欲的な意識が芽生え、ひいては充実した小学校生活を送る第一歩につながる。

・保育所保育の必要性まとめ

乳児保育も家庭保育も幼児期の教育に含まれていると考えた場合、その3歳未満児における教育的効果がなされる保育所保育の必要性また保育所保育が特に優れていることは教育基本法として考えれば、教育を3歳で分断せずに、就学前までを0歳児から積み上げられてきた幼児期の教育が養護と一体となって確立されていることである。

今、子どもの虐待から始まり、保護者支援、小一プロブレム等の問題を解決する手立てがあるとすれば、それは0歳児から積み上げられてきている保育所の方法論を社会に大きく還元すると共に、その重要性と必要性について大きくアピールすることである。



講演 I 及び意見交換 (15:00~17:00)

<テーマ>「子ども子育て新システム
新たな保育システムの最終形を考える」

<講師> 内閣府少子化対策担当参事官 藤原 朋子 氏



子ども・子育て新システムについて

子どもと子育て家庭を応援する社会構築に向けての制度

子どもの最善の利益を考慮し、すべての子どもたちが尊重され、その育ちが確実に保障されることが必要。深刻な待機児童問題、放課後児童クラブの不足、M字カーブ(30歳代で低い女性の労働力率)の解消策として、ワークライフバランスを推進するとともに保育の量的拡大により待機児童を解消し、男女が子育てと仕事を両立できる社会を実現する。



総合こども園(仮称)の創設

総合こども園(仮称)については、学校教育、児童福祉及び社会福祉の法体系において、学校、児童福祉施設及び第2種社会福祉事業として位置付ける。

※総合こども園は幼稚園と同様に、小学校就学前の学校教育を行う学校であることを明確にする。(総合こども園における学校教育は、幼稚園と同様に幼児の具体的な生活経験に基づいた総合的指導を行い、幼児の健やかな成長のための適当な環境における身の発達を助長する目的で行われるもの。)

総合こども園(仮称)の具体的制度設計について(案)

設置主体：国、地方公共団体、学校法人、社会福祉法人及び一定の要件を満たした株式会社、NPO等の法人

認可主体：都道府県知事

指定都市・中核市の首長(市長等)はあらかじめ都道府県知事との協議を行う

設置基準：現行の幼保連携型認定こども園の基準を基礎とする

配置職員：園長、保育教諭(仮称)、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、調理員→必置
副園長、教頭、主幹保育教諭(仮称)、指導保育教諭(仮称)等→任意配置

《意見交換進行》 保育総合研究会副会長
坂崎 隆浩



(坂崎) 藤原さん、「子ども子育て新システム」についての説明ありがとうございました。内閣府藤原さんにご質問はございませんか。

(渡辺) 24条の市町村の責務についてどう思われますか。

(藤原) 市町村計画の策定を義務付け、市町村で計画的な保育整備を行う。

・子ども園給付(仮称)等による個人給付と権利保障の法定化などの子ども・子育て支援法(仮称)の制定や児童福祉法改正などで、市町村の役割を明確にします。

(坂崎)その他ありませんか。
 (渡辺)資質向上の具体的なものが見えませんが。
 (藤原)資料として付けました新システムの実施に向けた考え方以上の説明は今はできません。
 (坂崎)他に質問はありませんか。
 (菊地)仮称、保育教諭についての移行期間はどのようになりますか。
 (藤原)今働いている人が困らないような処置を考えていきたいと思っています。
 (坂崎)他にありませんか。
 (矢野)総合こども園(仮称)の配置職員の中で学校薬剤師の役割について説明して下さい。



(坂崎)私が答えますが、保健師のように衛生管理をすると考えてもらえれば良いと思います。もちろん非常勤職員でもかまいません。他に質問はありませんか。無いようなので、予定の時間になりましたので、これで意見交換をおわります。



講演Ⅱ

<テーマ> 新システムより見えてきた、乳幼児教育の行方
 <講師> 白梅学園大学子ども学部教授 無藤 隆 氏



・新システムについて

現行では、財源が増やせない中で待機児童対策の予算が付くが、その他は難しくなっている。少子化に伴い、大都市の一部を除いて幼稚園・保育所の定員割れが生じ経営困難に陥り廃園に繋がる。そうならないために、広範囲の統合や別の手立ての保育に持っていくしかない。破滅的になる前に手を打たなければならない。

・質について

保育所も幼稚園も、質については極めて多様性に富んでいる。質を担保するには、保育士等の専門家として位置づけられているが、養成校では必要最小限の知識に過ぎない。質を高めるには、恒常的な研修の仕組みを整え義務付けインセンティブをつけていく必要がある。又、幼稚園教諭には一種・二種免許があり、保育士も早急に高度な資格を構築しなければ幼稚園教諭と差がでる。

更に、質の向上として保育のアドバイザー等で保育のチェック・改善に努め質の向上を図ることも必要である。

・保育士の処遇について

財務省としては保育士給与アップや保育料を下げる構想はない。しかし、調理室整備より、給与は支出が多く有効性は難しいが、保育士の処遇改善は必要であり主任等は給与改善をしたい。又、同じ仕事内容で公私間格差が大きいことも問題である。今後は政治の動向によって波及があるかも分からない。

・地域型保育について

地域型保育の活用は、賛否両論あるが少子化が極めて進む中、保育所がセンター的役割を果たし一定の質を確保しながら小規模・保育ママ・ベビーシッターを行うことも必要である。また世界的に、乳児保育を施設で行っているのは中国と日本だけであり、ある意味特殊だと言える。

株式会社等は、認可保育所の隙間に進出してきている。社会福祉法人として隙間を埋めて進出を阻む努力が必要である。

・自治体の関与について

自治体の責任が、今より明確にされる。保育ニーズを調査して計画的に保育の場を整備や調整をしていくことになり、当然自治体の裁量権や方針に左右される。今後、保育所として保育所機能や責任を果たすためにどうあるべきか声をまとめ上げていくことが重要である。

・保護者負担について

今後一人あたりの保育単価を定め、応能負担をどう設定するかが課題である。

・保育内容の充実

幼児教育の中身を高くししなければ、同じ環境で何年も過ごしている子どもはつまらなそうである。やる気や高い目標、エネルギーを引き出す工夫が欲しい。もちろん、一律ではなく、発達障害等を含めた個別配慮を行っていくことが大切である。そのため、カリキュラムを適切に作成し、日々の保育活動の中で、子ども達の学びや育ちを長期的な育ちと結びつけていく。又、保育士には事務作業のできる環境、時間の確保して保育の充実も必要である。

・少子化に伴って

まず競争は不可欠である。しかし安かろう悪かろうでなく良い施設が残ってほしい。子ども人口が減少地域では、既存保育所で定員割れが進み統廃合も進む。子ども集団ができる場所に進出を考えることも必要である。



Q 質の向上のために何をどうしていったら？

A 日々改善を目指す仕組みをつくる。新システム完全実施するまでに、来年、3年後はどうするか。指導計画の中にお金を掛けずにできることがある。

Q 新卒学生が即戦力にならないが？

A 学生に大学の授業を増やすのは難しい。現場での実習での経験が重要である。そのためには保育所での実習生を受け入れして、養成に協力を願いたい。

Q 国は日本の子どもをどう育てたいのか？

A 財源確保とシステムの改正が必要である。

Q 幼稚園の長期の休みはどうなるのか？

A 原則幼稚園がこども園になると休みなく開園する。しかし、幼稚園制度との関連もある。

Q 資格の統合について。

A 現在働いている人が困らないように配慮する。

